



角張った形状のスタイルだけに、無駄のない室内空間を確保している。室内長は2000mm、前後の乗員距離が955mm。というところから言うと、室内長は1セグクラスの普通車と比べてもそれほどなく、室内長は1700mmの男性が乗っても前席と膝の間に握りこぶしが2個分以上も余裕がある。軽自動車の現規格は98年の道路運送車両法の改正で全長3.4m以下、全幅1.48mに拡大された。その後のパッケージの進化もすさまじい勢いで、「軽自動車だから狭い」という認識が今ではほぼなくなった。

シートはリビングルームのソファをイメージし、異なる素材を縫製してセフスよく仕上げた印象だ。シートの縁に見えるさりげないグリーンのアクセントが、これまたおしゃれ。助手席ダッシュボード、ドア、メーター類

■インテリアの絶妙な切れ味

く。鋭い感性を持つている女性が、ムーヴコンテに興味を持つきっかけとして、色があるのではないだろうか。大体一般的な軽自動車のカラーバリエーションは5色前後であるから、ラインナップの豊富さが群を抜くクルマの第一印象として、視覚はやっぱり大事。マスカットグリーンメタリックは、その名の通りに瑞々しいマスカットの甘さと酸っぱさを感じる。淡い黄色のコットンアイボリーは、メレンゲに黄身を混ぜたよう。淡い青のミストブルーマイカは、海外リゾート地のビーチサイドで傾けるおしゃれなカクテルが。ムーヴコンテのカタログを見ると、そんな幻想(妄想)もにかられてしまふ。全く困ってしまう。中年男性ライダーの貧弱な発想なのだから。

■使い勝手の良い室内空間

おしゃやかな室内に加えて、実用的な部分でも利便性が高い。前席のドアポケットは、もちろん、運転席のサイドトレイなど小物収容が豊富にある。ショッピンングバックも加えると実に15箇所(オプション装着で変わる場合もある)。これだけあれば、不自由することはないのでは。ちょっとしたポーチ代わりに、今の季節はサンガラスや日焼け止め、化粧品などの小物の収納に威力を発揮する。シートアレンジも多彩で前席のヘッドレストを外して倒すと足を伸ばしたり、仮眠できたりと便利な「ロングソファモード」に変身。後席も前方に倒すことができるので、長尺物の荷物も収容できる。ラゲージスペースにはA型のベビーカーを積める。各席のドアも90度まで開き、乗降時やチャイルドシート装着時などにも配慮した。

カラフルな「ガラ軽」の進化



DAIHATSU MOVE CONTE X

■テキスト=有岡 志信(フォトライター) ■Photo=青柳 健司(フォトライター) ■取材協力=ダイハツ北海道販売 白石店 ☎(011)864-2721

プロフィール

■見た目にも鮮やかに増色

ダイハツのカジュアル背高ワゴン・ムーヴコンテが、さらなる魅力に磨きをかけて7月1日にリリースされた。今回のマイナーチェンジは、シンボルカラーのマスカットグリーンメタリックなど3色を追加し、3パターンの「2トーン」バリエーションも用意。インテリアにも「シンプルグリーン」をテーマに、アクセントにグリーンを配し、おしゃれ感を演出している。絵柄がいっぱいのまさに「カラ軽」の進化版だ。

もちろんそれだけではない。エコを含めたエンジン部分も進化した。2WDの自然吸気エンジン(NA)で27.6km/ℓ、4WDのNAで25.0km/ℓのJC08モードでの低燃費を実現。先代のコンテではNAの2WDが免税で、同4WDが75%の減税だったが、今回の新型で全NA車がエコカー減税による免税となった。同車のシカをモチーフにしたCMキャラクターでおなじみの「カクカクシカシカ」ではないが、「カクカクプルプル」の驚くべき技術力のアップだ。

■淡い、甘いカラーの変化

女性受けしそうなパステル調のフォルムに、猛暑でも爽やかな風が吹き抜ける。と言ったら、少々大げさか? マスカットグリーンメタリックを筆頭に8色+2トーン3色の計11色を選べる。これだけでも楽しくなつて



ディーラーメッセージ

ダイハツ北海道販売 白石店

カーライフアドバイザー

榊原 悠貴さん

デザイン性もあり、とり回しの苦手な女性にも魅力的なクルマです。前のコンテに比べて静粛性や走りの性能もアップしています。角張ったデザインは珍しく、前方の車両感覚がとてつこみやすいのが特徴です。ボディカラーも豊富で、2トーンセレクションもそろえています。カラフルでカタログを見ても楽しくなります。もちろん、アイドリングストップ機能もついていて、エコでもトップレベル。乗って楽しくなるようなクルマです。



■エコと基本性能の成長

ダイハツのエコ技術を結集した「e:s(イーステックノロジー 第2弾)」を導入して、二層の低燃費を達成した。停車前のアイドリングストップ機能の速度を、新型で2km高めて9km(4WD車は7km)で自動停止。これによって、NAの2WD車で27.6kmの低燃費になる。温度状況に応じて燃料噴射やCVT変速制御の最適化を図るなど、エコ技術が凝縮されている。スイッチオンで、アイドリングストップの作動を停止することもできる。実際は走り方によって、燃費が大きく変わる。だが、エコ運転を心がけることによって、ガソリン代の節約に鬼に金棒のようなクルマになる。

クルマの基本性能も見直した。前後のブレーキをサイズアップし、制動距離を短縮。ダッシュサイレンサーの性能向上で透過音、カウルの剛性のアップで低回転走行時のこもり音をそれぞれ減少。派手な変更点ではないが、日常ユースや長距離ドライブでは何かと気になってしまう「音」だけに、快適性のアップはうれしい限りだ。

インプレッション

■ストレスを感じさせない走り

試乗車は「X」の4WD。シートに座った印象は、アイポイントの高さ。これに加えて角張ったボディー形状もあって、前方の車両感覚が非常につかみやすい。仕事柄、多種多

様なクルマに乗るだけに、まずは車両感覚に慣れるために結構、苦労することもある。小さいクルマだと運転も楽と思われがちだが、ノーズが見えにくければ軽自動車でも最初はてこずる。特に女性で運転に不慣れな人でも、導入部分はOK。次に走りの性能だが、静粛性については二段と進化したと感じる。エンジン音やロードノイズも、先代に比べてかなり軽減された印象だ。風切音もほとんど耳に入らない。このクラスでの遮音性能は、間違いなくトップレベルと言っていい。

ハンドリングはフワフワとした軽さがない。連続コーナりの上り坂、下り坂もそれぞれスピードアップして攻めてみたが、ノッポなクルマに関わらず、意外と安定した旋回を見せてくれた。足回りは、柔らかな味つけたダイハツの背高ワゴンでは「タント」もあるが、コンテよりも50〜100kgほど車重がある。このため、軽快さはコンテの方が上回る。コーナーを攻めるようなクルマでないが、実用域ではスムーズな走りを見せてくれる。

■普通車からの乗り換えも○

ムーヴコンテは、おしゃれなクルマでいて実用性も十分。リッターカークラスからの乗り換えでも、十分に納得できる仕上がりだ。マイナーのモデルチェンジだが、フルモデルチェンジといってもいい内容に仕上がっている。燃費も良いし、乗りやすいし、使い勝手も良い。女性目線で作られたクルマだけに、総合的な完成度も高い。エコプールの火付け役ともなったダイハツ車だけに、うまいクルマづくりをしていると、感じさせられた。